



第60回 秋田県消防大会

1 開 会
 平成十九年六月三十日能代市文化会館で行われた第六十回秋田県消防大会は、消防関係者及び一般県民を含む約八百名が参加して盛大に開催された。



題 字
 初代会長 松野 盛吉
 定 価 1部 5円
 (購読料は年会費に含む)
 発行人
 〒010-0951
 秋田市山王四丁目1番2号
 秋田地方総合庁舎内
 秋田県消防協会
 会長 中泉 松之助
 電話 018-867-7320
 FAX 018-863-5910
 E-mail:ask@biscuit.ocn.ne.jp

印 刷
 〒010-0951
 秋田市山王7丁目5-29
 株式会社 松原印刷社
 電話 018-862-8760

第六十回秋田県消防大会 盛大に開催

- 平成十九年度消防功労者八事業所が知事表彰
- 第三回消防団員意見発表会では九支部代表者が発表
- 平成十八年度能代市山本郡中学校防火弁論大会最優秀賞の弁論寸劇「みんなで守ろう。我がふるさと」



中泉秋田県消防協会長あいさつ

地元の色合いを濃くした催し物を多く取り入れたことにより、参加者がこれらを楽しみながらも自らの消防の使命や役割を再認識する大会となった。

開会に先立ち披露された能代市連合消防団能代消防団の木やり隊、まとい隊の皆さんによる「まとい振り」の演舞で会場一杯に消防の勇猛心の雰囲気が高まったところで、壇上にある国旗・市旗・協会旗及び三十七本の団旗をバックに、下村勲副会長の開会のことばに始まり、殉職消防職員・団員の御霊への黙とう、国歌斉唱のあと中

平成十九年度全国統一防火標語
 『火は見てる
 あなたが離れる
 その時を』

泉松之助会長が「本年度実施するわがまちの消防団活性化支援事業への積極的な参加、市町村消防広域化への対応、自主財源拡充のための会費負担のお願い、国体への積極的な協力」などを主旨とするあいさつを行った。

開催地の中田潤能代市連合消防団能代消防団長、齋藤滋宣能代市長のあいさつのもと来賓の品田稔秋田県出納長、安藤豊秋田県議会副議長、寺田学衆議院議員から祝辞を頂いた。菅野事務局長が壇上の来賓紹介、消防庁長官のメッセージ披露をした。

2 平成十九年度消防功労者(優良事業所)知事表彰



平成19年度消防功労者(優良事業所)表彰

この表彰は平成十九年度から消防団員である従業員の消防団活動を支援することで地域における消防活動の推進に貢献し、かつ他の模範と認められる事業所を表彰しているものである。品田稔秋田県出納長から次の八事業所に表彰状が渡された。

- 三種町 医療法人双山会 森岳温泉病院
- 能代市 能代運輸株式会社
- 能代市 株式会社 秋田電機精工社
- 能代市 田代濁川地区森林生産有限公司
- 能代市 有限会社 成金金物店
- 能代市 有限会社 佐藤燃料水道工事店
- 男鹿市 若美電気工事株式会社
- 秋田市 NEC液晶テクノロジー株式会社
- 社秋田工場

3 第三回消防団員意見発表会

平成十七年度より開始して第三回となった。消防団員が日ごろの消防団活動や経験事例の発表をとおして消防活動のあるべき姿や消防人としての役割を再認識する場でもある。

- 全県各支部から一名合計九名の代表がそれぞれの団の支援を受けながら発表した。
- 能代市山本支部 三種町消防団班長 信太賢一「日々の訓練の最終地点」
- 男鹿湧上南秋支部 五城目町消防団分団長 石川和雄「消防訓練大会から得たもの」
- 秋田市支部 秋田市消防団部長 渡邊達夫「消防団活動へのこだわり」
- 本荘由利支部 由利本荘市消防団分団長 齊藤貞雄「人の和による団結」
- 大仙市仙北市美郷町支部 美郷町消防団副分団長 山代 武「地域に必要とされる消防団」
- 横手市支部 横手市雄物川消防団員 渡部達也「地域に根ざした消防団員でありたい」
- 湯沢市雄勝郡支部 羽後町消防団分団長 後藤宗一「消防活動の思い出」
- 鹿角支部 鹿角市消防団員 糠塚 智「悔しい思い」
- 大館北秋田支部 大館市大館消防団班長 鳴海正春「消防団活動を通じて得たもの」



防災弁論大会優秀賞の弁論

4 弁論発表・一人芝居・寸劇

・弁論発表は、平成十八年度能代市山本郡中学校防火弁論大会最優秀賞受賞者の伊勢春香さん(現能代商業高校一年生)が、「防火は温かなひと声から」と題して消防団員である父親の地域の人達との日常のふれあいの実践を傍で見て、人の心を温かくする声かけが防火・防犯の始まりであるとの受賞作を弁論し会場は深い感銘を受けた。

・また、能代の生んだエンタティナー今立善子さんの一人芝居「善婆」は、現代の社会や人々を風刺し、能代市連合消防団能代消防団第十二分団員による寸劇「みんなで守ろう我がふるさと」は、今大会のために制作した力作で消防団活性化のために消防団OBの消防小隊結成のストーリーをコミカルに演じ、ともに会場は大きな笑いに包まれた。

5 閉 会

中田潤能代市連合消防団能代消防団長が、「全県消防相互の連携と団結の輪を広げ、地域住民の安心・安全な暮らしを確保し、消防人としての使命達成に邁進する」と大会宣言。

次期開催支部の中島辰悦秋田市消防団副団長が第六十一回大会を秋田市が万端準備して皆さんをお待ちするとあいさつ。続いて秋田県消防の歌「われらあり」を全員で斉唱したのち、島山勉副会長が閉会のことばを述べ、大会を閉じた。

第三十六回 消防救助技術 秋田県大会

第三十六回消防救助技術秋田県大会が平成十九年六月二十八日由利本荘市の秋田県消防学校で行われた。

県内全十三消防本部から二二二人が出場し、日ごろ鍛えた救助技術を競った。

競技は、建物の間に渡した長さ二十メートルのロープを往復する「ロープブリッジ渡過」や垂直に組み込まれたはしごを安全に速く登る「はしご登はん」、マンホールなど地下での救助を想定した「引き揚げ救助」など個人、団体合わせて六種目で、それぞれ速さや安全性などの審査が行われた。

八月二十二日に東京都で行われる全国大会、七月二十六日に宮城県で行われる東北地区消防救助技術指導会には、それぞれ次の個人・チームの出場が決定した。

種 目	消防本部名	氏名・チーム名	大会名
ロープブリッジ渡過	秋田市	吹谷謙和	全国
はしご登はん	大曲仙北広域	中嶋美彰	全国
ほふく救出	秋田市	佐藤勲チーム	全国
ロープ応用登はん	大館市	花田一成チーム	全国
引き揚げ救助	秋田市	伊藤英美チーム	東北
	由利本荘市	鎌田智仁チーム	東北
	北秋田市	中嶋伸博チーム	東北
ロープブリッジ救出	秋田市	吹谷謙和チーム	東北
	能代山本広域	武田匡史チーム	東北
	能代山本広域	中田 雅チーム	東北
障害突破	横手市	環貫 淳チーム	東北

※七月二十六日に行われることになっていた東北地区消防救助技術指導会は、七月十六日に発生した新潟県中越沖地震のため、残念ながら急ぎよ中止となりました。





平成19年度 秋田市消防団 消防操法大会

平成十九年七月八日、秋田市消防団消防操法大会が開催された。昨年新設された御所野の秋田市消防訓練場を会場に、消防団の規律の厳正、消防操法の習熟等を目的として好天の下で熱戦が展開された。
競技種目は、ポンプ車操法の部には十分団隊五十名、小型ポンプ操法の部には二十四分団隊九十六名が出場し、ポンプ車操法の部では保戸野分団が、小型ポンプ操法の部では雄和第一分団がそれぞれ優勝し、両分団は九月六日(木)に行われる全県大会の出場資格を得た。なお、他支部でも七月二十九日まで支部毎の大会が行われ、同じように全県大会の出場チームが決定することとなっている。



平成十九年度 東北地区 消防連絡協議会

平成十九年七月十一日、岩手県盛岡市つなぎ「ホテル大観」で開催され、本県からは畠山・下村両副会長、事務局長ほかが出席した。
開催県の西村岩手県消防協会長のあいさつ、達増岩手県知事代理の川久保岩手県総務部長、田村八幡平市長からの祝辞の後、議事に入り、提出された議題について提案県である岩手県消防協会から提案理由の説明があったのち、各議題について各県協会が現況報告と議題への考えを述べ、次の二議案について東北地区消防連絡協議会として全会一致で消防庁長官及び日本消防協会への要望書提出を決定した。

森田 ポンプ ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
各種消火器 消防機器一式

株式会社 **協** 立
株式会社 **能代消防センター**

〒016-0846 能代市栄町12の3
TEL (0185) (52) 6361
(52) 6494

議題(一) 非常勤消防団員の報酬年額等格差の是正について
(消防活動の広域化によって、各消防団が協調して活動しなければならぬ状況にあり、極力格差是正が望ましい。)

議題(二) 地方公務員(市町村職員)による消防団への入団促進について
(消防団員確保対策として、地域の事業・事務を担っている市町村職員の入団には極めて大きい期待がある。入団促進について国等の指導を再度要望する。)

このあと、「災害情報をめぐる最近の課題」と題して、岩手県立大学総合政策学部准教授 牛山素行氏の講演が行われた。また、次期(平成二十年)の開催県についての協議が行われ、福島県での開催が決定した。

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防 ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備 火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551(代)
猿田興業ビル7F FAX 018 (824) 3651

株式会社 夕 力 吉

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182) (32) 3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ | キンパイホース
トータツポンプ | シバウラポンプ
各種消防機械器具 | 各種消火器
消防設備保守点検

ホームページ <http://www17.ocn.ne.jp/~takagi/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp

秋田県で初めての 機能別消防団員が 鹿角市に誕生

消防団は、火災発生時における初期消火や災害発生時の地域住民の生命と財産の安全・安心を確保するために欠かせない組織であるが、全国的には少子化高齢化の進行とともに消防団員の高齢化・減少によって消防団活動の低下が懸念されている。

このため、現行の消防団分団の機能を補完するため、一定の役割・活動に限定して活動する機能別団員を確保し、地域住民の生活の安定に寄与することを目的に、本年四月一日に鹿角市は、「市民を守る魅力ある消防団づくり基本計画」を策定するとともに、併せて消防団規則を改正して企業チームによる機能別団員制度を創設し、鹿角市の榊柳沢建設がこれを取り入れて本県初の機能別消防団員が十名二チーム登録で発足した。

1 鹿角市消防団の機能別団員

機能別団員は、消防団員が行うすべての活動でなく、一定の役割・活動に限定して活動する団員をいう。団員OBによるもの、女性によるもの、企業チームによるものの三種の拡充を図ることとしたが、企業チームによるものを先行して発足した。

2 企業チームによる機能別消防団員の活動

昼間の地域団員の減少により低下する災害に対するマンパワーを補うため、勤務時間に限り指定された出動範囲の中で限定された次の消防活動等を行う分団員とする。

- ・火災発生時の情報伝達と初期消火補助活動
- ・常備消防及び分団消火活動の後方支援
- ・地域消防施設等の管理状況報告
- ・地域自主防災組織への積極的関与



調印式

横手市消防本部が岩手県北上地区と 災害協定を再締結

横手市消防本部は、六月二十六日岩手県北上地区消防組合消防本部と相互応援協定を締結した。要請を待たずの応援出動を可能としたことや応援側の経費の一部負担制の導入などこれまでの協定の一部を見直したことにより、両県を結ぶ秋田自動車道、国道107号の県境付近の災害において両消防本部の迅速かつ柔軟な出動が可能となった。

3 位置づけ
基本消防団員と同様に特別職公務員とする。また、定員管理の対象とする。

4 待遇
退職報償金及び出動手当は支払われる。ただし、年報酬は支払われない。公務災害は、補償される。

5 年齢等
基本団員と同様、十八才以上六十才未満の者で鹿角市内に居住している者。

6 訓練
社員の中にある消防団員経験者を指導

7 その他
機能別団員のほかに協力員制度を設け、平常時の施設・機器管理状況の監視及び火災発生時における現場整理と歩行者及び車両等の安全確保のための交通誘導等人的後方支援を行う。

訂正とお詫び
「消防秋田」七月号の四ページでお知らせした七月二十八日開催の湯沢市雄勝郡支部操法大会の会場が、「湯沢市ヘルシーパーク多目的広場」になっておりましたが、正しくは、「湯沢雄勝広域交流センター北側駐車場」でした。

消防互助年金

『消防の仲間が支える互助年金』

消防互助年金制度は、(財)日本消防協会が消防職団員等の安定した老後の生活と福祉の向上のために第一生命保険相互会社と締結している拠出型企業年金制度です

あなたの老後は大丈夫
公的年金+消防互助年金で
生活アップ

加入申込みは消防事務担当へ

ホームページでも詳しく紹介しています

問合せ先

- 市町村の消防事務担当係
- 都道府県消防協会
- 財団法人日本消防協会 消防互助年金事業部
- 生活協同組合全日本消防人共済会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-16
日本消防会館 TEL.(03)3503-1481-5
http://www.nissho.or.jp/

(日本消防協会ホームページ)

消防 半天・帯・団旗
優勝旗・ゼッケン
手拭・タオル・のれん
旗幕類名入染物専門

寺田染工場

横手市清川町 ☎32-0416

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店

株式会社 高義商会

総合防災設備センター

(営業種目)

- トーハツ小型動力ポンプ
- モリタ自動車ポンプ
- ジェットホース
- 消防被服全般
- 火災報知器各種
- 消火器各種

〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL.(0183)(42)2125

〒012-0844 湯沢市田町 TEL.(0183)(73)2588